

久留米大学

御井図書館ニュース

No. 59 2005年9月1日発行

1冊の古書との出会い

法学部長 阿部和光

わが国では、新刊書が書店の店頭で販売される期間はそう長くない。小説や実用書に比べると、とりわけ専門書は夏の蝉のように市場での寿命が短い。ふと立ち寄った書店で、欲しい本を見つけても、すぐに読む必要がなければその場で買わないことが多い。その後数ヶ月、あるいは数年経って思い出し、あるいは急に必要になって本屋に駆けつけると、目指す本は本棚から姿を消しており買わなかったことを後悔する。仕方なく注文しても、出版社に在庫がなければ再度落胆する。「逃した魚」は大きいのである。後は当てもなく再版を待つか、古本屋で探すかしかない。

近年はインターネットで古書を買うことができるようになった。身体と時間を使って掘出物を探す古本屋めぐりの楽しみはないが、日本全国の古本屋を短時間で探索できる便利さは有り難い。

昨年、私は昔から欲しくてたまらなかった近藤文二著『社会保険』（岩波書店、1963年）をネットで見つけ出した。この本は今では社会保険に関する古典的名著である。即座に注文をし、ほどなく宅配で受け取ったが表紙を開いて驚いた。中表紙に「謹呈 大内兵衛先生 侍史 近藤文二」と達筆で書かれていたからだ。大内は日本を代表する高名な経済学者である。私は近藤が大内に贈呈した本を、偶然に買ったことになる。

近藤は当然だが、大内も私の専攻する社会保障法と縁が深い。わが国の社会保障制度の青写真は、1950年の社会保障制度審議会の「社会保障に関する勧告」である。大内は同審議会の初代会長として、勧告の作成に力を尽くした。同勧告の序文は社会保障制度構築の必要性を説き、戦後の荒廃した中で自信を喪失していた国民を鼓舞し、希望を与える檄文のような雰囲気がある。通常の勧告の事務的な表現とは、ひと味もふた味も違う。まさに、大内の人柄と意気込みを感じさせる格調高い文章である。

近藤も優れた学者だが、その近藤が大学者の大内に贈った専門書が、半世紀近い時を経て巡りめぐって私のところにやって来たのだ。私はインターネットと古本屋と、そして偶然の僥倖に感謝した。ちなみに、この本は「謹呈」の書き込みがあるため、比較的安かった。このような貴重な書き込みなら、数倍どころか10倍の値段でも喜んで買っていたであろう。

私は今秋の社会保障法学会で、「社会保険法」に関するシンポジウム報告を担当することになった。この1冊の古書との出会いに、不思議な因縁を感じる今日この頃である。

「本と私」

経済学部1年 木下美里

「あなたは本を読む方ですか？それとも読まない方ですか？」と聞かれたら、おそらく昔の私だったら「読まない方です。」と答えるだろう。

このように、私はほとんど本を読むことはなく、読むとしたらちょっと気が向いたときだけというような感じであった。私を読む本といえば、大体マンガや雑誌が多く、小説などはほとんど読んだことがなかったと言っても良いかもしれない。しかし、そんな私であったが、中学校1年生のときにある本に出会い、読書をするようになった。それは、あの「ちびまる子ちゃん」の原作者として有名な、さくらももこさんの本である。これが私の読書の始まりだった。

さくらさんは本職は漫画家であるが、エッセイも出版している。代表的なものを挙げてみれば、「あのころ」、「まる子だった」、「ももこの話」、「もものかんづめ」、「さるのこしかけ」、「たいのおかしら」などがある。私がさくらさんの本でいちばん最初に読んだのが、「ももこの話」であった。書店で見つけたときは、「表紙がかわいい」とだけ思っただけで買おうとまでは思っていなかった。だが、ちょうど学校の朝読書のときに読む本がなかったので、その場しのぎのためだけにこの本を購入したのであった。

さっそく次の日にその本を学校に持って行き、朝読書の時間に読んでみた。読む前は「おもしろくないだろう」としか思っていなかったが、実際に読んでみるとなかなかおもしろいもので、休み時間も、気付いたら暇さえあればずっと本を読み続けていた。確かに、本に書いてある内容に対しては「ばかばかしくておもしろい」ということをいちばん感じていたが、それだけではなかった。私は前々からさくらさんについて興味があった。その本には、さくらさんが子供時代にどのようなことをして過ごしていたかなどがいろいろと書かれてあり、さくらさん自身について多くのことが述べてあったので、その面でもおもしろさを感じていたのだと思う。

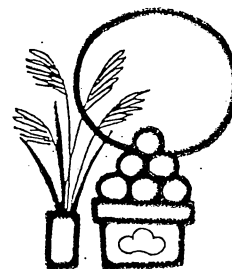
私は、さくらさんの本が本当に大好きだ。今ではさくらさんの書いたエッセイはほとんど読んでしまった。これらの本に出会えたおかげで私は本を読むようになり、嫌いでたまらなかつた小説も読むようになった。私が本を読むようになったのは、さくらさんだけがきっかけではなく、友達の影響もあったといえる。友達が紹介してくれる本は分厚いものが多く読むのが嫌だったが、これもまたおもしろいものばかりであった。

このように、私に本を読むきっかけを与えてくれたさくらさんと友達に感謝したい。そしてもし、「あなたは本を読む方ですか？読まない方ですか？」と今きかれたら、私はきっこう答えるだろう。「読む方です。本にはいろいろなおもしろさ・楽しさがありますから。」と。

知の玉手箱原稿募集

学生向け図書案内誌「知の玉手箱」2006年号の発行の準備をしております。つきましては、下記の要領で図書の紹介をしていただきますようお願いいたします。

1. 1冊あたり400字程度（横書き）の紹介文をつけてください。
簡単なコメントだけでも結構です。
2. 新入生をはじめ、学生に対して読書の楽しみを喚起するような図書を推薦していただければ幸いです。
3. 提出期限 平成17年12月16日（金）
4. 提出先 御井図書館
5. その他 お問合せ、ご質問等は、御井図書館まで



開館時間変更のお知らせ

夏季休暇が終わり、9月16日（金）より開館時間は下記のとおりになります。

月曜日～金曜日 午前 9時～午後9時

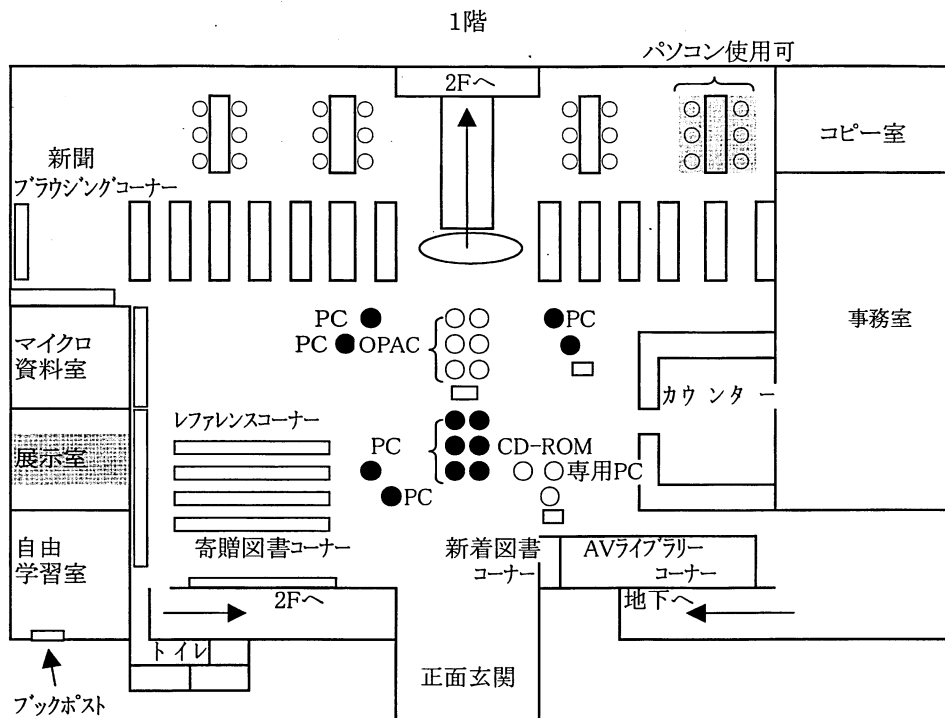
土曜日・日曜日 午前10時～午後6時

休館日 祝祭日、創立記念日、お盆（8月15日）
年末年始（12/29～1/3）

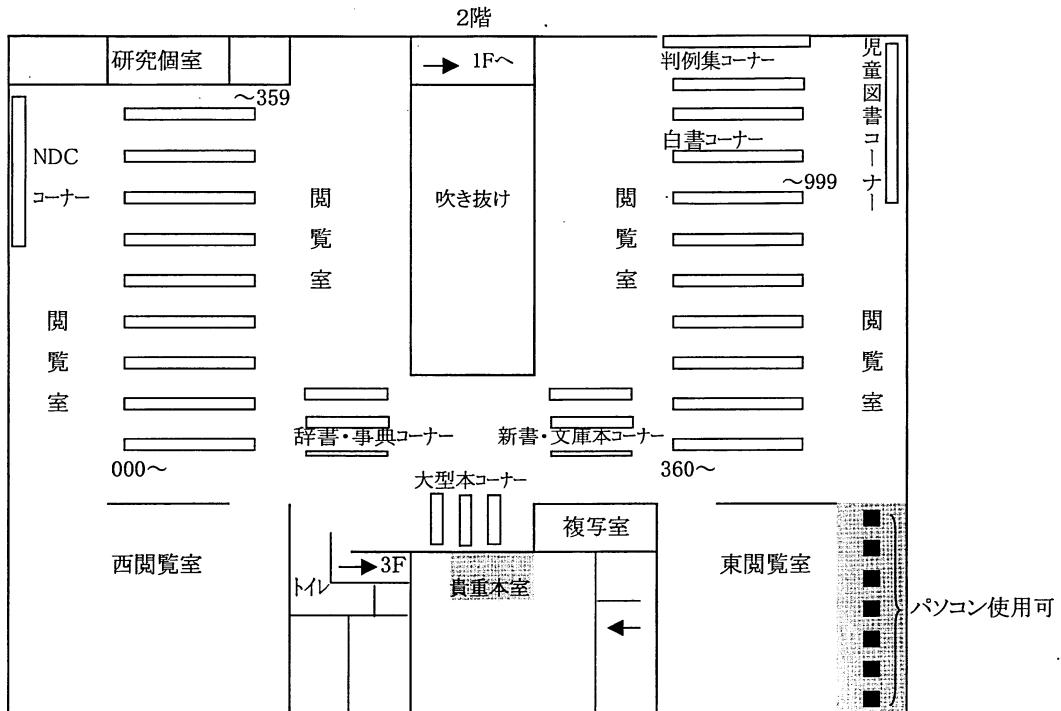
お知らせ

※館内での私物パソコンの使用が、下記の指定場所で可能になりました。
 (使用の際は、周囲の迷惑にならないよう注意し、電源は内蔵バッテリーを使用すること)

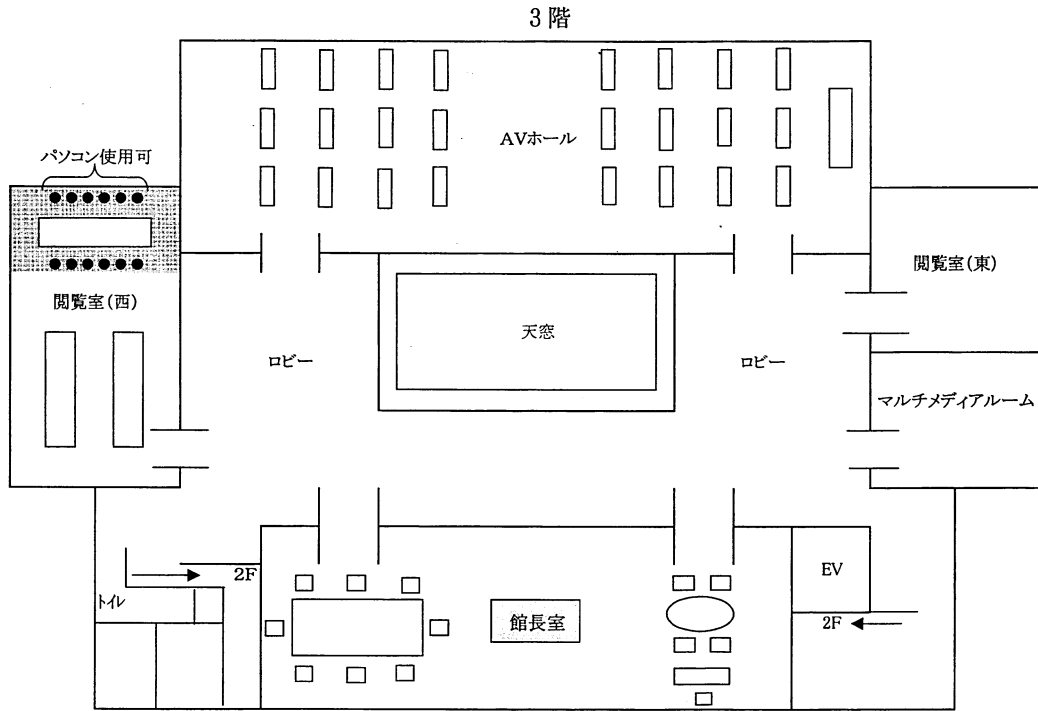
※館内施設が一部移動しました。



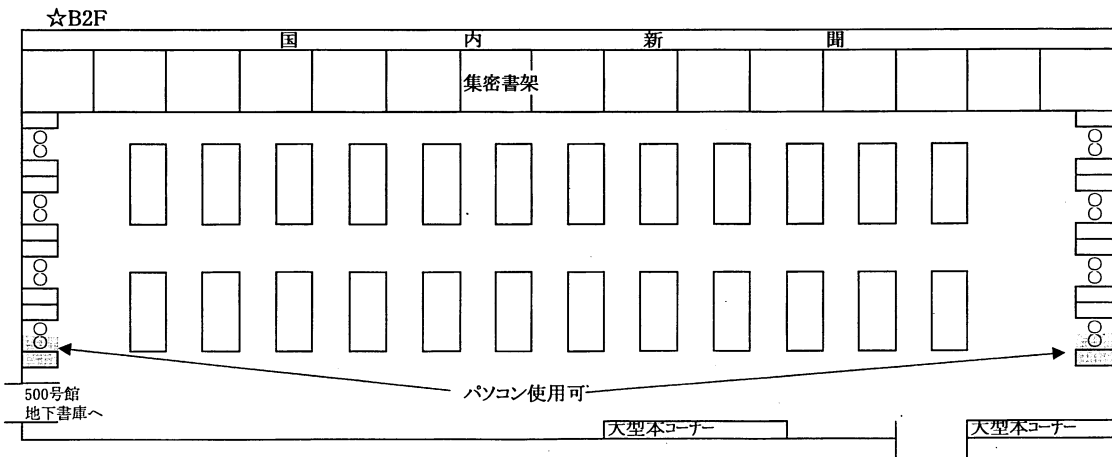
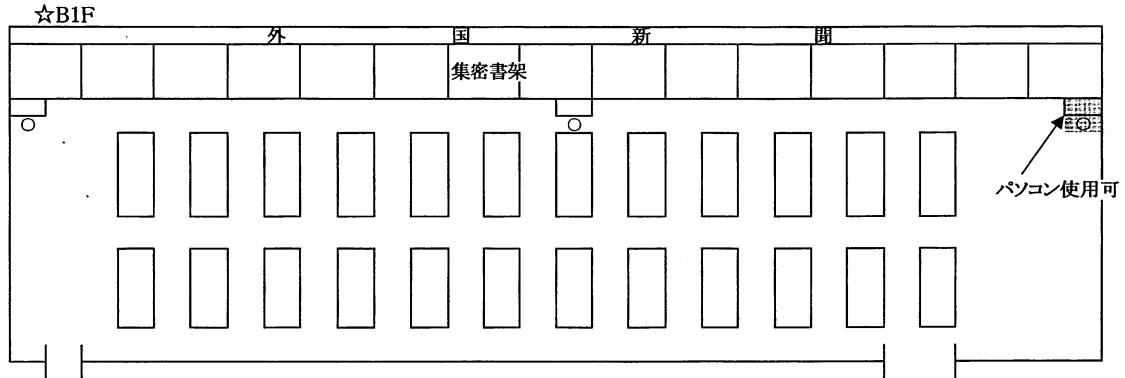
貴重本室が展示室に変わりました



貴重本室が2階に移りました



館長室が3階に移りました



図書館利用状況（2005年度）

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
開館日数		29	26	30	31	28	144
入館者数	前年同期比	532	278	-748	-3,279	2,313	-904
	学内者	24,027	26,254	30,668	40,633	13,580	135,162
	前年同期比	-8	82	10	-62	-35	-13
	その他学外者	144	225	288	122	168	947
地域住民登録者数	前年同期比	-6	5	1	-7	9	2
		50	18	29	14	29	140
貸出冊数 (学生)	前年同期比	58	-211	-353	-462	72	-896
	全体	1,891	2,306	2,646	3,513	1,226	11,582
	前年同期比	-67	3	-121	-85	-19	-289
	内、夜間	358	644	697	897	59	2,655
	前年同期比	55	-2	12	-12	-25	28
	内、土、日曜	208	246	229	351	147	1,181
	一人当たりの貸出数	0.29	0.36	0.41	0.54	0.19	1.79
貸出冊数 (教職員)	前年同期比	394	-29	5	55	56	481
	全体	714	250	313	314	290	1,881
	前年同期比	24	-5	13	10	13	55
	内、夜間	74	65	109	80	16	344
	前年同期比	-14	3	3	-11	18	-1
	内、土、日曜	9	11	22	36	27	105
貸出冊数 (その他学外者)	前年同期比	22	1	25	13	26	87
	全体	109	100	162	50	147	568
	前年同期比	4	10	-9	14	-19	0
	内、夜間	19	43	46	18	3	129
	前年同期比	19	-11	32	7	-13	34
	内、土、日曜	34	28	58	25	30	175
AVライブラリー 利用件数	前年同期比	6	-9	-28	9	-10	-32
	学生	23	23	19	21	3	89
	前年同期比	3	-24	-16	-6	-7	-50
	教職員	12	19	12	5	0	48
	前年同期比	-2	0	0	3	8	9
	その他学外者	0	4	4	5	9	22
相互利用 (文献複写) 申込件数	前年同期比	147	90	22	-22	-73	164
	学生	225	187	228	167	154	961
	前年同期比	-20	-41	41	-57	-3	-80
	教職員	40	44	79	32	47	242
	前年同期比	0	0	0	0	-1	-1
	その他学外者	0	0	0	0	0	0
相互利用 (現物貸借) 申込件数	前年同期比	5	-5	-32	-16	3	-45
	学生	10	10	9	13	8	50
	前年同期比	-4	2	7	5	-4	6
	教職員	5	10	15	22	16	68
	前年同期比	0	0	0	0	0	0
	その他学外者	0	0	0	0	0	0

〈貸出冊数についての注記〉

1. 教職員の貸出には、専任教員の研究室貸出分を含まない。
2. “夜間”とは、17:00～21:00の夜間開館時間を指す。
*なお、4月1日～4月11日、8月2日～9月15日、2月1日～3月31日の期間は夜間開館を行っていない。
3. 地域住民の貸出は、7月5日～7月29日、1月4日～1月28日の期間は停止している。
4. 学生一人当たりの貸出数は、平成17年5月1日現在の御井キャンパスの学生数で算定。

編集・発行 久留米大学御井図書館
〒839-8502 久留米市御井町1635
TEL (0942) 44-4015
FAX (0942) 43-0348
<http://www.mii.kurume-u.ac.jp/miilib/>